

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	TCM_文書理解Ⅱ		（ TCM108 ）
講義名（コード）	TCM_文書理解Ⅱ		（ TCM108 ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	劉琦	時間数	30
成績評価教員	劉琦	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材となる。
全体の内容と概要	前項の「到達目標・目的」に基づき、本講義は「通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につける」ことを中心に、受講者の日本語のレベルを高めるために行う。具体的には春学期に続き、日本語能力試験（N1）に合格することを目標とし、文字・語彙および文法の解説や練習を実施する。テキストは『日本語パワードリルN1文字・語彙』と『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』の2冊であるが、1回の授業ごとに交替で使用する。 また、文字、語彙、文法は医療通訳の能力を高めるためのものであるため、練習問題の解答を書くだけでなく、問題と解答を朗読し発音や口語能力の練習も行い、さらに問題を中国語に訳す。
授業時間外の学修	内容が多く、授業時間だけでは全部学習することが難しいと思われるため、できれば一部の練習問題は自宅で完成し、授業では解説を中心に講義を進めるようにする。
履修上の注意事項等	受講生の個人差があると考えられるため、下記授業計画は実情に応じて進度を調整する場合もある。なお、N1を受験して合格した受講生には年度末の成績評価を加算する。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4実用書を読むの35～37
2	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第16回～18回の練習問題
3	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4実用書を読むの38～40とCheck
4	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第19回～20回の練習問題と集中トレーニング擬音語・擬態語（1）（2）
5	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4実用書を読むの41～43
6	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第21回～23回の練習問題
7	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4実用書を読むの44～45とCheck、まとめの問題
8	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第24回～25回の練習問題と集中トレーニング擬音語・擬態語（3）パソコン関係のことば
9	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、ドラマのシナリオを読むの46～48
10	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第26回～28回の練習問題
11	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、ドラマのシナリオを読むの49～51
12	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第29回～30回の練習問題と集中トレーニング大学生活で使うことば、ビジネスで使うことば
13	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、ドラマのシナリオを読むの52～53とCheck
14	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	年度末総合復習
15	年度末テスト	年度末テスト。文字、語彙及び文法の総合テスト

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『日本語パワードリルN1文字・語彙』、『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』
参考文献・資料等	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布）
備考	その他適宜配布